



2015・11・1

第 220 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

戦争法廃止へ、各分野・政党の共同広げて

「講演会」に先立ち呼びかけ人会

九条の会は 11 月 13 日、九条の会のこの間の取り組みを振り返りつつ、亡き鶴見俊輔さんの志を受けつぐ決意を固めあう「講演会」を開きます（別項参照）。この日は講演会に先立って呼びかけ人会議もひらかれ、11 年目に入っている九条の会のこれからのあり方についても話し合う予定です。

広がる「野党は共同強化を」の声

【山形県東置賜地区】 山形県の南陽市、川西町、高島町の憲法九条の会、東置賜地区平和センターでつくる「憲法 9 条を守り、平和とくらしを守る東置賜地区実行委員会」は 10 月 17 日、高島町で元外務省国際情報局長の孫崎享(うける)氏を迎え講演会を開き、400 人が参加しました。

孫崎氏は、安倍政権が戦争法、原発再稼働、TPP などを国民の反対を無視して進めているなかで、暴走を止めるためには、野党がまとまって選挙に臨むことが必要と強調。戦争法反対のたたかいはかつてない運動で臨むことが必要だと述べました。それを受けて参加者が「野党協力へ政党任せにせず私たちが声をあげることが大事だ」と発言し、

鶴見俊輔さんの志を受けついで

九条の会講演会

—今、立憲主義と 9 条の危機に立ち向う

◇と き 11 月 13 日 (金)

午後 6 時 30 分

◇ところ 東京千代田区 日本教育会館

◇お 話

よびかけ人 大江健三郎、澤地久枝

ゲスト

益川敏英さん (京都大学名誉教授)

森まゆみさん (作家)

◇参加費 前売 1200 円 当日 1500 円

拍手が起こりました。戦争法廃止を求める集会宣言を採択しました。

「与党議員を落選させよう」と参加者

【長野県松本市】 戦争法廃止の思いを行動にしようと 10 月 18 日、「松本市で本気で止める戦争法！ 松本アクションの集会とパレード」が行われ、350 人参加しました。

違いを脇に置いて、戦争法廃止の一点で共同しようと、松本の九条の会と戦争させない 1000 人委員会が事務局となり、7 月と

9月に開かれた戦争法案廃案集会を踏まえて開催したもので、よびかけ人と参加者がリレートークを行いました。

松本アクション呼びかけ人の安曇野ちひろ美術館顧問の松本猛さんは、共産党の国民連合政府の提案にふれて、「立憲主義を取り戻す連合政府は不可能でないと思う」と話しました。「与党の議員を落選させよう」「2000万署名に取り組もう」などの訴えや「安倍さん、そうじやあんめえまあやあ(それじゃあいけないよの意)」と松本弁のスピーチもありました。

集会後、「9条守れ」「戦争法は廃止にするぞ」などとコールしながら市街地をパレードしました。

戦争法廃止に向けて交流と学習

【群馬県】 「九条の会」群馬ネットワークは10月10日、前橋市内で活動交流会と講演会を開き、126人が参加しました。

各地域の九条の会が、戦争法に関する憲法カフェなどの学習会、初のピースパレードなど多彩な活動を報告。普段参加できない人もできる活動のあり方などについて質疑応答をし、活発に交流しました。

前橋市「芳賀九条の会」の角田悦夫さん(67)は「他の九条の会とのネットワークや結びつきが特に必要だ。取り組みのヒントを得られた」と話しました。

法政大学大原社会問題研究所の五十嵐仁名誉研究員が講演しました。

出発前集会に野党代表があいさつ

【栃木県鹿沼市】 栃木県鹿沼市の市民ら約100人が10月3日、市内中心部の約2

キロを行進し、戦争法廃止をアピールしました。鹿沼九条の会と、平和の罨(こだま)鹿沼100人委員会が呼びかけました。

行進に先立つ市民センターでの集会では、共産、民主、社民の県代表が連帯あいさつ。

同市での共同行動は先月20日の「リレートーク」に続く2回目。窓から手を振る人、沿道で見送る人、クラクションで声援を送る人がいました。

「戦争法を廃止する国会をつくる」

【徳島県阿南市】 九条の会阿南は10月19日、戦争法廃止を求める早朝宣伝をしました。橘駅付近の交差点で「戦争法廃止、若者を戦場に送るな」の横断幕とのぼりを掲げ手を振ってアピールすると、市民の注目を集めました。行動は2月に始め、今月から9、19、29の3日間行います。

九条の会阿南事務局長の広間智恵子さん(67)は「戦争で命を落とすような法律をそのままにしておくことは許されない。野党共闘をすすめ、戦争法廃止の国会を選挙でつくりたい。そのためにアピールし続ける」と語りました。

軽トラ連ね、町内中をアピール

【長野県立科町】 長野県立科町で10月12日、9条を守るたてしなの会が初めて軽トラデモを行い、11人が参加しました。軽トラ6台と宣伝カーに思い思いのデコレーションを貼りつけ、のぼり旗をはためかせ、3時間ほどで町内のほとんどの集落をまわりアピールしました。

目立つようにとコスモスの花を荷台に乗せて参加した竹花弘子さん(67)は「戦争への

道は始まる前に止めないとブレーキがかからない。畑の草は伸びて、柿の実は色づいて収穫時期だけど、それを放り出してでも来なくちゃと思って」と語りました。

軽トラに「売り渡してはならない故郷の山・水・空気」と手書きのメッセージを貼りつけた男性は TPP への怒りも語ります。

田畑で作業中の町民が手を止めて「何事か」と見送り、手を振って見送る女性や「頑張ってくれ」と激励した男性もいました。

九条の会の二川透さんは「戦争法が通っても諦めていない。今度の選挙では安倍に目にモノみせてやる」と語りました。

戦争体験聞き、決意新たに

【岐阜市西北部】 岐阜西中学校区九条の会などでつくる、戦争体験を聞き、戦後 70 年を考え、未来について語り合う「平和のつどい」が 10 月 11 日、七郷公民館で行われ、予想を上回る 60 人が参加しました。

主催は、岐阜西中学校区九条の会などでつくる実行委員会。

70 年前の 7 月 9 日、約 900 人の命を奪った岐阜空襲。この体験を語ったのは、岐阜市曾我屋に住む鷺見吉男さん(85)。ちょうどその日、父が上官の命令で帰省し、「おまえら寝とるやつがあるか」とたたき起こされ、急いで逃げ、その数分後に焼夷爆弾が落ち、家が全焼した様子を語りました。戦後の食料もない厳しい時代を生き抜いた経験も語り、「戦争は絶対してはダメ。人生は一度しかない。命は大事にしたい」と話しました。

分散会では、当時小学 3 年生だった女性(79)が「蚤つぶしに明け暮れ、せっけんがなく灰で手を洗った。女子全員丸坊主だった」

と語り、当時 3 歳だった男性(73)は「記憶にはないけど、人から伝えられた話を語り継ぎ、戦争法反対の運動をすすめていきたい」と語りました。

「9 条ステッカーをもっと車に貼りめぐらせたい」、「政治の話ができるようになり、デモに参加して腹の底から戦争反対を叫べた」など、自ら変化していった様子も語られました。

九条の会世話人の高橋弘さん(78)は、「この流れはこれからも続く。平和のバトンを引き継ごう」と訴えました。

ろうあ者らの「会」、1 年で 4 倍に

【北海道】 2014 年 7 月の安倍内閣による「集団的自衛権行使容認閣議決定」に危機感を抱いた、ろうあ看や手話を学ぶ仲間などによって同年 9 月に結成された「手話九条の会(西田憲治代表)」は結成時 66 人だった会員が道外にも広がり、現在 258 人と会員が 1 年前の 4 倍に広がり、戦争法反対の運動に取り組んでいます。

会は新聞の発行やメールでの情報発信などを行い、デモには、会員外の参加者も集まれるように、赤に白字の目立ちやすいのぼりを掲げ参加しています。

太田利実事務局長は、1 年で会員が約 4 倍になったことについて、「戦争法に対する強い怒りとろうあ者のろう学校時代の強いネットワークが会員を増やしていった」と話します。

10 月 17 日には札幌市で、同会 1 周年記念講演会が開かれ、ろうあ者や家族など約 70 人が参加しました。

記念講演では、高崎暢弁護士が戦争法の

問題点を解説し、今後のたたかいとして「戦後日本が平和を守ってきた民主主義の底力と、世論の動きや野党協力の提案に確信を持ち、再び民主主義、立憲主義を取り戻そう」と呼びかけました。

ろうあ者の福島太郎さん(34)は「特定秘密保護法の強行採決をみて、これはおかしいとずっと思っていた。手話九条の会ができたので入りました。今では、妻も活動を理解してくれるようになった。戦争法廃止のためにがんばりたい」と話しました。

《特別寄稿》

新たに8つの九条の会が誕生

ねりま九条の会事務局長 大柳武彦

東京・ねりま九条の会は星の数ほど九条の会を作ろうと努力してきましたが、活動家は仕事が増えるということで断られてきました。ねりま九条の会員は900人、まだできてない町を単位に会員に呼びかけて懇談会を開きました。3人、5人と集まっていたきました、そこで誕生したのが、土支田9条の会、南高石9条の会、春日町9条の会、田柄9条の会、石神井台9条の会、石神井町9条の会、中村9条の会、北町9条の会です。

今年の3月から9月にかけて作ってきました。みなさんアベの暴走に危険を感じ、「このままでは死んでも死にきれない。誰がニュースを配ってくれているのかお礼だけでも言いたい」、「足腰が痛く国会に行けないがせめて地域の会に顔を出そう」、「代表のなり手が無ければ私が」と、酸素ボンベが離せない85歳の方も、戦争反対、9条

に対する熱い思いに駆り立てられてこられた方だけに、人数は少なくても行動提起にすぐに応えてくださいました。

ねりま九条の会は日本の青空 DVD を持っているの、その上映会を3つの九条の会で実施しました。チラシを新聞に折り込み、配り、それぞれ大成功で再上映するところもあり、ほかでも予定しています。

春日町9条の会は発足してわずか1か月で映画の上映会45人参加と、翌週7月12日に春日町駅から練馬駅までのデモを実施しました。情勢を反映してかツイッターで知った人など120人が参加、せいぜい20人くらいかと思っておりましたが予想を超えた参加で春日町9条の会の皆さんは元気が出ました。計画した人はわずか9人でした。

また田柄9条の会も8月9日の日本の青空上映会に続き9月27日に平和台駅から下赤塚駅までのデモを実施して110人が参加、住民の好反応に大いに自信を深めました。このデモには近隣の九条の会が参加してエールを交換し、うちでもやろうと意気が上がっています。

もちろんすべてがうまくいっているわけではありませんが、少し手を差し伸べ寄り添って行けば皆さん熱い思いを持っているので問題は自分たちで解決できます。また新しい人が参加してきています。九条の会が提起したキーワード、①地域から②共同の実現を文字通り実践してきた結果です。地域から民主主義を掘り起こす、集まると近所の人が会員だったとは知らなかった、隣の人にも声をかけようとにぎやかに声を上げています。70歳はまだまだ怖いもの知らずの青年部です。